

# Catalyst スイッチで NAM カードを使用するための TrafficDirector の設定

## 目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[NAM の設定](#)

[手順説明](#)

[NetFlow および NAM](#)

[警告](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

## 概要

Network Analysis Module ( NAM ) カードは、SwitchProbe に似ていますが、TrafficDirector アプリケーションでしか設定できません。これはソフトウェア バージョン 4.3(1a) 以降を実行している LAN スイッチの Catalyst 5000 ファミリで動作します。シスコでは、NAM では TrafficDirector 5.8 以降を使用することを推奨していますが、TrafficDirector 5.6 または 5.7 も動作します。

## [はじめに](#)

### [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

### [前提条件](#)

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### [使用するコンポーネント](#)

このインストール手順は TrafficDirector 5.6 または 5.7 を使用していることを仮定します。

注: バージョン 5.3 または 5.5.1 からの 5.6 へのアップグレードが Y2K 問題が理由で自由であるので、バージョン 5.3 を使用していないと仮定します。5.6 前にバージョンを使用している場合、バージョン 5.8.3 に推奨します ( Cisco.com からのダウンロードのために利用可能な ) アップ

グレードすることを。

## NAM の設定

ステップは下記の NAM の設定で TrafficDirector を使用するために詳しい ガイドラインを提供します。この資料の終わりに [Caveats セクション](#)に注意することを忘れないでください。

### 手順説明

NAM を TrafficDirector を使用するために設定するように次の手順に従って下さい。

1. NAM カードがインストールされているスイッチに Telnet で接続して下さい。 **show snmp** コマンドを発行して下さい。このコマンドはイネーブルになった SNMP 機能を表示するものです。正しくはたらく NAM に関してはスイッチで有効になる RMON および拡張 RMON が両方なければなりません。 **show snmp** コマンド出力最初の 2 つの行は次の通り現われます:
2. RMON 機能が拡張RMON機能が無効である場合、スイッチの機能を有効にする次のコマンドを使用して下さい。例は下記のイメージで示されています。  
`switch-prompt: set snmp rmon enable`  
`switch-prompt: set snmp extendedrmon enable`
3. TrafficDirectorプログラムを開始して下さい。メインユーザインターフェイスは現われます。
4. **File** メニュー・ **ボタン**の下にアプリケーションの左上にある **Switch オプション**・ **ボタン**をクリックして下さい。 **Switch オプション**・ **ボタン**は下記のイメージで一周されます。
5. **Help menu** **ボタン**の下にアプリケーションの右上にある **Adminオプション**・ **ボタン**をクリックして下さい。 **Adminオプション**・ **ボタン**は下記のイメージで一周されます。
6. 下記のようにイメージに示すように大きい **Configuration Manager** **ボタン**を、クリックして下さい:Configuration Manager ウィンドウは下記のようにイメージに示すように、現われます:
7. 上でイメージに示すように**追加...****ボタン**を、クリックして下さい。Add Switch ウィンドウは現われまスイッチ 情報を、下記のイメージに示すように必要とします。次の情報を入力します。Switch Name : これはスイッチの名前です。IP Address : これは IP または DNS名のどれである場合もあります。注: IP アドレスはよりよくはたりますスイッチタイプ: これはそれです Cat\_5000、Cat\_5500、Cat\_5505、または Cat\_5509 スwitchの正確なモデルである必要があります。リード ( read ) コミュニティ: これはスイッチの読み取り専用の SNMPコミュニティ スtringです。リード ( read ) コミュニティ: これはスイッチの読み取り専用のSNMPコミュニティ Stringです。ライト ( write ) コミュニティ: これはスイッチの読み取り/書き込みSNMPコミュニティ Stringです。
8. 必要情報を入力した後、**OK** **ボタン**をクリックして下さい。ウィンドウは Configuration Manager ウィンドウに消え、戻ります。注: 最近設定された スwitchは下記のイメージに示すように甲革に、Configuration Manager ウィンドウの左のウィンドウ、現われます。
9. 新たに追加されたスイッチをクリックして下さい。ポートのリストは下記のイメージに示すように下部のに、左のウィンドウ、現われます。
10. NAM を使用するために、それにポート、VLAN、または FEC ( Fast EtherChannel ) 粗紡系にしなければなりません。粗紡系にすることは粗紡系にされたポート、VLAN、または FEC から分析のための NAM にすべてのデータを送信することを意味します。ポートを、VLAN 選択して下さい、または下部ので粗紡系にしたい FEC 左のウィンドウ。注: ポートリストはデフォルトで表示されます、appropriate オプション・ **ボタン**をクリックして VLAN か FEC を表示できます。

11. 粗紡系にしたいオブジェクトを選択するとき **Rove ON ボタン**をクリックして下さい。ウィンドウは下記のイメージに示すように、インストールするために現われまプロパティファイルを選択することを許可します。
12. **NAMprop** プロパティファイルを選択し、次に **OK ボタン**をクリックして下さい。
13. **NAMprop** ファイルが NAM でインストールされていた後、Configuration Manager ウィンドウを閉じ、TrafficDirector ウィンドウの上で **Protocol オプション・ ボタン**をクリックして下さい。Configuration Manager ウィンドウで粗紡系にされた port/VLAN のための TopN Talkers、All Talkers、プロトコル モニタおよびプロトコル ズームをデフォルトで分析できるはずですが、現在、ポート/VLAN/FEC は Configuration Manager ウィンドウからだけ粗紡系にされるかもしれません。注: その他の機能は **NAMProp.asd ファイル**の編集を必要とします。詳細についてはプロパティファイルの編集のオンライン ヘルプを参照して下さい。

## [NetFlow および NAM](#)

NetFlowデータを TrafficDirector の NAM カードを使用して表示するために、下記のステップを使用して下さい。Catalyst Command Line Interface のためのステップおよび TrafficDirector のためのステップがあります

### Catalyst Command Line Interface

1. **set snmp extended rmon netflow** **イネーブル** <password> コマンドを発行して下さい。パスワードは WS-PB-NFM の購入によって入手することができます
2. **set mls nde enable** コマンドの発行によるイネーブル マルチレイヤスイッチングNetFlowデータエクスポート。

### TrafficDirector 5.7

1. 起動コンフィギュレーションマネージャ。
2. エージェントを追加して下さい
3. エージェント名、IP アドレス、インターフェイス 3000 ( ことに注目して下さい 3000 は NetFlow のためです )、読み書きコミュニティ スtring および NAMProp であるプロパティファイルを記入して下さい。
4. コンフィギュレーションマネージャに Install ボタンをクリックしてエージェントのためのプロパティファイルをインストールして下さい。
5. NetFlow を見るために新しく作成されたエージェントに対してドメインの発見を起動させて下さい。

## [警告](#)

### Network Analysis Module リリース 4.3(1a) のみ

- Network Analysis Module は 1 つのポートだけの粗紡をサポートします; 従って、粗紡系にされたポートのリストへポートを追加することはサポートされません。
- ドメインの発見を、Network Analysis Module に粗紡系にされる VLAN スイッチポートに対して実行して、か FEC はアラーム イベントを取得するエラーという結果に終わります。

すべての NAM バージョン、4.3(1a) から 4.5(1)

- アップグレードはトラフィックディレクター 5.3 で作成された NAM のための外部エージェントを削除しません。 ( CSCdk79994 )。この問題を回避するために、手動で エージェン

ト エントリを削除して下さい。NAM がインストールされているあらゆるスイッチのための内部に Roving Agent フィールドの説明を変更して下さい。これをしなければ、NAM 失敗の非常駐オペレーション;スイッチのプロパティ ファイルのインストールははたらかないかもしれません。これは非常駐エージェントを定義するために TrafficDirector リリース 5.3 ソフトウェアがスイッチの名前を維持するのが常であったので起こります; TrafficDirector 5.6、5.7、または 5.8 は Roving Agent フィールドのために内部名前を使用します。

- NAM ( CSCdm52292 ) を使用してトラフィック モニタのためのすべての IP 話者を開始できません。移動されない ポートを選択し、TopN Talkers のようなアプリケーションを開始した場合、コンフィギュレーションマネージャを選択されたポートに粗紡系にし、TopN Talkers に必要な正しいドメインを有効にするのに使用して下さい。トラフィック モニタにそして戻り、アプリケーションを開始して下さい。この問題は NAM を使用してスイッチでポートが粗紡系にされるとき、デフォルトのプロパティ ファイルが非常駐エージェントでインストールされているので観察されました。SwitchProbes にあるより NAM のためのデフォルトのプロパティ ファイルで有効になる少数のドメインがあるのでこれらの現象を表わす、NAM は可能性が高いです。
- Mini-RMON はスイッチの Catalyst 5000 ファミリーの VLAN および FEC のためにサポートされません。NAM と粗紡系にされた VLAN に対して mini-RMON アプリケーションを (トラフィック モニタ、短期または長期の履歴、セグメント 詳細、セグメントズームのような、等) 使用するために試みることはエラーを発生します。Generate レポートは NAM ( CSCdm57988 ) の粗紡系にされた VLAN か FEC を使用してできません。TrafficDirector は NAM を使用して粗紡系にされたポートのデータを収集し、表示することができます。ただし、Trend Reporter は粗紡系にされた VLAN または FEC のデータを表示することができません。

## 確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

## 関連情報

- [Cisco Traffic Director](#)